

◆中面記載の通常講座に加えて、講座受講生を対象とした「特別集中講座」も予定しています◆

(日程ほか詳細は、令和5年度講座開講後、別途ご案内します)

担当講師 山崎 憲治 元岩手大学教授

【講義回数・時間】 2回・4時10分から5時まで(予定)

【受講料】 2回で1,000円

## 受講手続きの流れ

1 FAX<sup>※1</sup>、封筒郵送<sup>※1</sup>、はがき、メール、Webで、次の内容をお知らせください。

※1 別紙の受講申込書をご利用ください。

- ①「前期」希望講座 ○○○○○
- ②「後期」希望講座 ○○○○○
- ③氏名(ふりがな)、④郵便番号・住所、⑤電話番号、⑥FAX番号
- ⑦メールアドレス(休講などのお知らせに使用します。)
  - ・FAX送信先:03-3715-3099
  - ・郵送先:〒153-8573 目黒区役所生涯学習課内<住所不要>
  - ・メール送信先:megurocc1995@gmail.com
  - ・めぐろシティカレッジホームページ(右コード)から申し込み可



2 前期・後期の手続きの流れは次の通りです。

	応募締切	受講確定 振込案内送付	受講料振込 締切	受講証送付
前期	共に3月1日	3月上旬	3月15日	4月上旬※2
後期		7月上旬	7月中旬	8月上旬

※ 2「目黒学」のみ3月下旬

3 講座当日は、受講証をご持参の上、会場へお越しください。

※原則として入金後の講座の変更・キャンセルはできません。

やむを得ない事情が生じた場合は、1回目講義の前までに事務局にご相談ください。

## 受講に際して

- 1 やむを得ない事情により、日程や講師等を変更したり、講義の短縮や中止の場合もあります。予めご承知おきください。
- 2 現地実習については、荒天等により実施できなかった場合、天候や講師の都合により平日に実施する場合もあります。日程変更により欠席された場合でも返金できません。予めご承知おきください。
- 3 講師や他の受講生に迷惑をかけたり、講座運営に支障をきたす行為があった場合、受講をお断りすることがあります。
- 4 受講を修了した方が研究会を作る場合には、事務局へご相談ください。
- 5 主な会場は目黒区中央町社会教育館(中央町さくらプラザ)ですが、講義によっては現地実習があります。現地実習の集合時間や時間等は別途ご案内します。

## Q & A

Q1 「前期」と「後期」、それぞれ異なる講座を申し込んでも良いですか?

A1 異なる講座でも、同じ講座でも、どちらでも良いです。

Q2 「前期」の講座を2つ申し込むことはできますか?

A2 できます。日程が重なっていない講座と組み合わせてお申し込みください。

Q3 抽選で落選した場合はどうなりますか?

A3 応募状況により、定員に余裕のある他の講座等をご案内させていただきます。

## MAP



## お問合せ

めぐろシティカレッジ振興会事務局

TEL 03-5722-9316

(月～金曜日 10:00～17:00)

目黒区上目黒2-19-15

目黒区教育委員会事務局 生涯学習課内

MEGURO  
シティカレッジ

第29回(令和5年度)受講生募集

# めぐろシティカレッジ 受講案内・募集要項

応募締切:令和5年3月1日(水)※消印有効

## ●「めぐろシティカレッジ」の紹介

平成7年10月開講

めぐろシティカレッジは、東京都立大学が八王子市に移転するに際し、「お世話になった目黒区に何かお役に立つことがあれば協力したい」という、東京都立大学の総長山住正己先生(当時)をはじめ、大学関係者および、東京都立大学附属高等学校の皆様の熱い思いを受け、目黒区、東京都立大学、同大附属高等学校、東京都教育庁の4者が協力して、目黒区民の生涯学習に貢献し、生活・文化に寄与することを目的として開始した生涯学習講座です。

現在、任意団体「めぐろシティカレッジ振興会」が運営を行っています。

令和5年度の会場につきましては、前年度に引き続き目黒区中央町社会教育館(中央町さくらプラザ) 目黒区中央町2-4-18で実施します。

## ●学習の目標

「めぐろシティカレッジ」では、設立の趣旨に基づき、次の3点を学習の目標に掲げています。

1わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で誰からも強いられることなく、自らの意思と方法で勉強して自己実現をはかります。

2わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」で蓄積された知的資産を「明るい豊かな人間のまちづくり」に自己責任で参加して、生かします。

3わたしたちは、「めぐろシティカレッジ」での学習や研究、「まちづくり」を通じて育まれた温かい人間関係をより豊かにするとともに、新しい価値観と生きがいを求め、新世紀に向かって行動します。

## 新型コロナウイルス感染症に関するご理解のお願い

- 発熱又は風邪のような症状がある方、ご家族の方が濃厚接触者になったりPCR検査を受けることになった場合など、少しでも感染の恐れがある場合は、講座への出席をお控えください。
- 入室前の手指消毒、受講中のマスク着用、咳エチケットなどにご協力をお願いします。
- 状況により、掲載されている講座や講座会場などが変更される場合があります。
- 休講などのお知らせに使うため、メールアドレスをお知らせください。

## 講座案内

「前期」と「後期」の2期制となります。

各講座とも全7回／1講座につき受講料: 10,000円／定員: 40名

※現地実習の際は、別途入館料など実費が必要な場合があります。

【受講料】 「前期」10,000円、「後期」10,000円

【定員】 40名(応募が定員を超えた場合は抽選)

【応募締切】 令和5年3月1日(水)※消印有効

※定員を超えた場合、区内在住・在勤・在学者優先となります。

※受講希望者が所定の人数に満たない場合は開講を中止することがあります。

# 前期 令和5年4月～7月(講義時間午後2時～4時)

## 1. 目黒学パート29 「祈りと願い」その① コーディネーター:山崎 憲治

4/1	人はなぜ祈るのか 山岡 三治 上智大学名誉教授・上智大学グリーフケア研究所長
4/8	感染症と祈り 山崎 憲治 元岩手大学教授
5/20	建築に見る祈りと願い 岩田 厚 岩田厚建築設計事務所代表
6/10	円融寺とサレジオ 山崎 憲治 元岩手大学教授
6/24	仏像に見る祈りと願い —廻国巡礼・微笑仏の木喰上人— 荻原 延元 川村学園女子大学名誉教授
7/8	水辺の神仏への祈り 柘植 信行 品川歴史館専門委員
7/22	目黒区にある神社の立地 山崎 憲治 元岩手大学教授

## 2. 眼と心が紡ぐ風景の世界 その① コーディネーター:堀 信行

4/8	アフリカ少年が日本で育てて見えてきた風景世界 星野 ルネ 漫画家
4/22	風景の深層: 『牛十圖』から魂の風景(境涯・風格)を読む 金山 秋男 明治大学名誉教授
5/20	風景と風土:ツーリストの眼差しからの考察 飯島 祥二 松蔭大学教授
6/10	神楽が紡ぎ出す風景 垣澤 瑞貴 相模里神楽 垣澤社中代表 神楽師
6/24	風景を哲学する:日本の原風景を例に 堀 信行 東京都立大学名誉教授
7/8	風景に潜む両義的世界:光と影・表と裏 和多田 アヤ 写真家
7/22	森と人を繋ぐウォールアートの風景 おおくにあきこ(NPO法人ウォールアートプロジェクト理事長) 浜尾 和徳(同団体ディレクター)

## 3. 戦後日本を振り返る その① コーディネーター:越田 年彦

4/15	戦後日本政治経済史概観 越田 年彦 元慶應義塾大学訪問教授
5/13	産業技術の進展と展望 亀井 修 国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 参事役
5/27	作詞家・阿久悠の戦後 ～美空ひばりと石原裕次郎を手掛かりとして～ 吉田 悅志 明治大学名誉教授
6/3	戦後スポーツの栄枯盛衰 依田 充代 日本体育大学教授
6/17	戦後日本のオリンピック 依田 充代 日本体育大学教授
7/1	英語教育を振り返る～体験とその意義 若井 康博 東京都立松が谷高等学校英語科教諭
7/15	ビートルズと日本 大村 亨 ビートルズ日本史研究家

## 4. 見て回る 江戸・東京 その① コーディネーター:佐藤 洋、生井 貞行

4/15	「日本の価値観」が形成された江戸時代 地球の地帯構造から東京を見る—目黒川情景— 生井 貞行 元桜美林大学講師
5/13	浅草寺～周辺に残る創建の経緯を探る～ 森 慎一郎 東洋文化研究家
5/27	浅草寺 ～東京最古の寺院の創建当初から現在に至る姿～ 現地実習 森 慎一郎 東洋文化研究家
6/3	東京湾の開発と環境の変容 生井 貞行 元桜美林大学講師
6/17	レインボーブリッジを歩こう ～今日の東京湾の景観～ 現地実習 生井 貞行 元桜美林大学講師
7/1	井上円了～ゆかりの地を訪ねる～ 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
7/15	井上円了～哲学堂・中野歴史民俗資料館～ 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭

# 後期 令和5年9月～令和6年1月(講義時間午後2時～4時)

## 5. 目黒学パート29 「祈りと願い」その② コーディネーター:山崎 憲治

9/23	中近世寺院と人々の救済 柘植 信行 品川歴史館専門委員
10/7	目黒にある寺の立地と変遷 山崎 憲治 元岩手大学教授
10/21	江戸名所図会に見る目黒にある寺院の現在 山崎 憲治 元岩手大学教授
11/11	寄進の歴史を探る 清水 克行 明治大学商学部教授
11/25	演習:キリスト教と江戸 山崎 憲治 元岩手大学教授
12/9	山の手七福人めぐり 現地実習 山崎 憲治 元岩手大学教授
1/27	仏教の大東亜戦争 鵜飼 秀徳 浄土宗正覚寺住職・作家・大正大学招聘教授

## 6. 眼と心が紡ぐ風景の世界 その② コーディネーター:堀 信行

9/23	レオナルド・ダ・ヴィンチは「いのち」の風景をどう表現したか 堀 信行 東京都立大学名誉教授
10/7	虫たちのいる世界: 私以外のだれかは風景をどう見ているか 館野 鴻 画家・絵本作家
10/21	志賀重昂『日本風景論』を読む 小迫 俊一 こおろ社(出版)代表
11/11	農から見える風景: その破壊と創成を谷戸田から俯瞰してみる 熊田 浩生 YATO Lab主宰
11/25	古代人の精神世界の風景考 譽田 亜紀子 文筆家
12/9	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」: 神道と仏教の融合したユニークな文化的景観 丹生 晃市 丹生都比売神社宮司
1/27	森と祈りの風景:教会建築史から 堀 信行 東京都立大学名誉教授

## 7. 戦後日本を振り返る その② コーディネーター:越田 年彦

9/30	国鉄全盛時代(その1) 特急列車が輝いた時代 太田 正行 鉄研三田会会員・元都立高校教諭・大学講師
10/14	国鉄全盛時代(その2) 新幹線発展の時代 太田 正行 鉄研三田会会員・元都立高校教諭・大学講師
10/28	昭和館と北の丸公園・吉田茂像を訪ねて 現地実習 越田 年彦 元慶應義塾大学訪問教授
11/4	阪神大震災と東日本大震災 城島 徹 元毎日新聞編集委員
11/18	80年代関西で起きた大事件～グリコ森永事件、豊田商事事件、朝日新聞阪神支局襲撃事件など～ 城島 徹 元毎日新聞編集委員
12/2	戦後の大学入試～小論文入試を中心に 平川 敬介 地歴公民系教材編集・執筆・小論文講師
1/20	バブル:あの頃と今 越田 年彦 元慶應義塾大学訪問教授

## 8. 見て回る 江戸・東京 その② コーディネーター:佐藤 洋、生井 貞行

9/30	江戸の伊能忠敬～ゆかりの地を訪ねる～ 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
10/14	江戸の伊能忠敬 ～茅場町・門前仲町・伊能忠敬の作業場～ 現地実習 佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭
10/28	高幡不動～鎮守の杜と写し靈場を考える～ 堀 信行 東京都立大学名誉教授
11/4	高幡不動 現地実習 堀 信行 東京都立大学名誉教授
11/18	向島・深川～江戸の粋と下町の情緒～ 森 慎一郎 東洋文化研究家
12/2	向島・深川 ～「花街」をてがかりにしてイメージ変化を巡る～ 現地実習 森 慎一郎 東洋文化研究家
1/20	東京大空襲・戦災資料センター 現地実習 生井 貞行 元桜美林大学講師